

自衛官中途退職度比前年35%増

合（21年度集計）を列挙。組織劣化の進行をうかがわせるものです。

中途退職抑制のため、23年度から民間会社を活用する

としています。中途退職者激増の背景として、任務激化に伴う心身

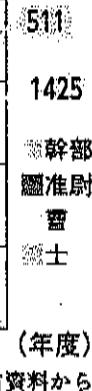
の負担や、ハラスメントの横行が指摘されています。

21年度の防衛省・自衛隊内でのハラスメント相談件数は、16年度に比べ約9倍に増加。最近では、元自衛官の五ノ井里奈さんが隊内で性暴力を受け、退職に追い込まれた経緯を告発しています。

資料は安保3文書に基づき、防衛省内で開かれた「防衛省・自衛隊の人的基盤の強化に関する有識者検討会」の第1回会合（2月22日）で配布されたもの。それによれば、イラク、インド洋などに海外派兵が拡大した07年度に中途退職者が5952人に達した後、

09年度からおおむね400人前後で推移。17年度から増加傾向が続き、21年度に急増しました。重大なのは、現場の中核である「曹」や、3尉以上の「幹部」の中途退職が直近15年間で最多になっていることです。

→佐藤弁護士の話②面



（年度）
防衛省資料から

2021年度の自衛官の中途退職者が前年比で約35%増加し、直近15年間で2番目に多い5742人に達したことが、防衛省がこのほど公表した資料で判明しました。

岸田政権は昨年閣議決定

を强行した安保3文書などと並ぶ「戦争国家」づくりの重要な柱として「人的基盤の強化」を打ち出していますが、現場自衛官が任務

激化の中で深刻な矛盾にさらされている実態が浮き彫りになりました。

防衛省は本紙の取材に、

2021年度5742人

ハラスメント横行・任務激化



日米共同訓練「アイアン・ファイスト」で海上陸上訓練を行う陸上自衛隊員

09年度からおおむね400人前後で推移。17年度から増加傾向が続き、21年度に急増しました。重大なのは、現場の中核である「曹」や、3尉以上の「幹部」の中途退職が直近15年間で最多になっていることです。

「自衛官の人権弁護団・北海道」の佐藤博文弁護士は、現職自衛官や家族からの退職に関わる相談が増えており、「22年度はもっと増える」との見通しを示しています。

→佐藤弁護士の話②面

安保3文書 矛盾噴出

自衛官退職者急増

自衛官の中途退職者が急増している問題で、「自衛官の人権弁護団・北海道」の佐藤博文弁護士に話を聞きました。（小林司）



自衛官の人権弁護団・北海道 佐藤博文弁護士

2022年度は中途退職者がもっとと増える半分以上になります。私たちの目標には去年から今年減少する中、防衛省は入隊年齢を26歳から32歳にかけて、自衛隊員や家族から、退職したく歳に引き上げる、再任職者は増え続け、それでも退職させてくれない用件を30人から1~20人になり、相談が多く寄りかかるようになります。

自衛官の中途退職者が急増している問題で、「自衛官の人権弁護団・北海道」の佐藤博文弁護士に話を聞きました。（小林司）

る状況で、完全に懲罰されが求められ上司の命令が絶対の継社会が軍隊です。それが女性へのセクハラや立場の弱い男性へのパワハラとなります。対等平等な人間関係ではありません。

私は「兵士である前に市民である」という考え方で活動していました。さるに20年になります。日本と同様、戦後には再軍備したドイツでは、陸海空軍の軍事部門と並び人権擁護や精神ケアの担当が独立して設置されており、

安保3文書に基づいて「専守防衛」までかなく捨てれば、海外のEUに行ってSNSで死ぬかわかりません。

防衛省が有識者会議を重ねて人員確保を目指しても成功するとは思えません。自衛隊が

リクルートを進めていた。その数は相談の結果で活動していく前に市町である」という考えで活動していました。さるに20年になります。日本と同様、戦後には再軍備したドイツでは、陸海空軍の軍事部門と並び人権擁護や精神ケアの担当が独立して設置されており、

安保3文書に基づいて「専守防衛」までかなく捨てれば、海外のEUに行ってSNSで死ぬかわかりません。

私は「兵士である

す。旧日本軍の本質を引き継いだ自衛隊とは根本的に違っています。